

平成30年度決算に係る

定期監査調書

平成31年4月

鳥取県立総合療育センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1	頁
	(1) 指摘事項		
	(2) 監査意見		
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	1	頁
3	組織及び業務調べ	2	頁
4	職員の定員、現員調べ	2	頁
5	役付職員の調べ	3	頁
6	主な事業に関する調べ	4	頁
7	収入証紙取扱額調べ	10	頁
8	収入事務処理状況調べ	10	頁
	(1) 分担金及び負担金		
	(2) 使用料		
	(3) 手数料		
	(4) 財産収入		
	(5) 諸収入		
	(6) 現金の取扱状況		
9	収入未済額調べ	12	頁
10	未収金回収促進のための取組状況調べ	13	頁
11	不納欠損額調べ	13	頁
12	負担金、交付金及び委託料支出状況調べ	13	頁
	(1) 負担金		
	(2) 補助金		
	(3) 交付金		
	(4) 委託料		
13	工事請負費調べ	18	頁
14	財産に関する調べ	19	頁
	(1) 公有財産		
	(2) 金券類の受払状況		
15	財産の貸付け及び使用許可調べ	23	頁
	(1) 土地及び建物		
	(2) 物品		
16	借受不動産明細調べ	24	頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	25	頁
	(1) 職員住宅		
	(2) 職員駐車場		
18	寄附物件の受納状況調べ	26	頁
19	備品の処分状況調べ	27	頁
20	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	27	頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ		
	(2) 物品の照合		
21	当年度における業務の概要	28	頁
22	利用者に関する調べ	31	頁
	(1) 月別利用者の調べ		
	(2) 近年の利用者の状況調べ		
	(3) 地域別利用者の状況調べ		
23	肢体不自由児及び重症心身障害児(者)に関する調べ	32	頁
	(1) 利用者の病類調べ		
	(2) 利用者の年齢調べ		
24	実習生・研修生の受入状況調べ	33	頁
25	使用料(診療費)の請求等の状況調べ	34	頁
26	主な施設の整備状況調べ	35	頁
○	意見、要望等	35	頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
<p>【物品の管理について】</p> <p>物品出納簿と現物が照合しなかった物品(手の手術セット外3品)について、その後相当の期間を経たにもかかわらず物品亡失の手続きを行っていませんでしたので、今後このようなことのないよう適正な事務処理を行われない。</p>	<p>医療機器等を中心に備品数は800以上、保管場所も50を超えているため、複数いる物品保管主任が個々に管理している備品数、保管場所も多く照合作業の中で混同があった。また、多くは医療・福祉職である物品保管主任の規則等の知識不足、担当業務を優先したため物品管理に十分に注意が行き届かなかったことなどが原因と考えている。</p> <p>平成29年度の物品照合結果を受けて、物品保管主任に保管場所ごとの備品一覧表を配布して備品を勝手に処分しないことなど適切に備品管理するよう指導するとともに、管理職等で構成する幹部会議において定期監査結果を周知し、備品の適正管理に努めるよう徹底を図った。</p>

(2) 監査意見                      該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(班)名	課の主な所掌事務
総合療育センター	事務部	・人事、財産管理、委託業務監理 ・予算、決算、収入、支出関係業務 ・各種法令に基づく届出・申請・報告、その他一般庶務に係る業務
	地域療育連携支援室	・地域・外部関係機関との連絡調整、情報の収集・発信 ・医療ソーシャルワーカーによる患者・利用者の支援業務 ・障がい児地域療育等支援事業 ・障がい児相談支援事業
	医務部	・診療業務(小児科、リハビリテーション科、精神科、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、歯科) ・調剤業務、臨床検査業務、画像診断のための撮影業務、栄養管理業務
	リハビリテーション部	・理学療法、作業療法、言語聴覚療法、心理療法に係る評価及び訓練
	看護部	・病棟における入所児の看護業務及び診療介助業務 ・外来における診療介助、処置、説明、カルテ管理、受診受付関係業務
	社会参加部	・入所児にかかる日常生活支援、入退所支援、院内行事の企画実施 ・外部関係機関との連絡調整
	通園部	・医療型児童発達支援事業(のびこワールド) 就学前の在宅障がい児に対する、日常生活動作訓練、機能訓練、療育指導及び相談対応業務 ・生活介護事業(はっぴいフレンド) 在宅の重症心身障がい児・者に対する、日常生活動作訓練、機能訓練、療育指導及び相談対応業務

4 職員の定員、現員調べ

(平成31年 4月 1日現在)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		当該年度	30.4.1現在	当該年度	30.4.1現在	当該年度	30.4.1現在	当該年度	30.4.1現在	
定員		26	26	69	69	0	0	95	95	
現員		(3)	(2)	(2)	(1)	(0)	(0)	(5)	(3)	【育休4】【事務】主事2 保育士1 【技術】看護師2
		25	25	71	70	1	1	97	96	
過不足(△)		△1	△1	2	1	1	1	2	1	【事務】事務部主事超過1、 看護部保育士欠員2、 社会参加部保育士超過1、 児童指導員欠員1  【技術】リハ部作業療法士超過1、 言語聴覚士欠員1、 看護部看護師超過1、 通園部看護師超過1  【現業】看護部介助員超過1
任期付職員		1	0	0	0	0	0	1	0	事務部職員育休代替
臨時職員		1	0	3	0	0	0	4	0	採用前提看護師3、 育休代替児童指導員1
非常勤職員		(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	【予算措置19】 【事務】MSW1、相談支援 専門員1、保育士2、事務 補助1 【技術】医師2、看護師3、 歯科衛生士2、医師事務 補1 【現業】介助員5、 現業技術員1
		5	4	9	8	6	6	20	18	

## 5 役付職員の調べ

(平成31年 4月 1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
		年 月	
福祉保健部理事監 兼院長	汐田 まどか	0 0	継続勤務期間 24年00月 院長在職期間 3年00月
副院長 兼社会参加部長 兼通園部長 兼地域療育連携支援室長	福谷 紀男	3 0	
事務部長	本家 進	3 0	出納員
看護部長	佳川 浩子	1 0	
看護師長	足立 裕季子	6 0	継続勤務期間 10年00月
看護師長	杉岡 智子	2 0	
事務部次長	妹尾 充美	4 0	
医務部長	佐竹 隆宏	4 0	
医務部課長補佐	山本 みちよ	1 0	継続勤務期間 10年00月
リハビリテーション部長	片桐 浩史	8 0	継続勤務期間 9年00月
リハビリテーション部課長補佐	川谷 歩	3 0	継続勤務期間 31年00月
看護部副看護師長	板谷 純子	3 0	継続勤務期間 15年00月
看護部副看護師長	前川 敦美	3 0	継続勤務期間 10年00月
看護部副看護師長	坪野 弘美	3 0	継続勤務期間 16年00月
看護部副看護師長	木村 弘子	3 0	継続勤務期間 10年3月
通園部課長補佐	小泉 浩二	0 0	

6 主な事業に関する調べ

(単位:千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
児童福祉法に基づく医療型障害児入所施設としての肢体不自由児入所及び重症心身障害児入所	319,437	1,858	315,721	1,858
鳥取元気プロジェクト	※総合療育センター費の中で当該事業を実施			
元気づくり総合戦略				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい児への療育を行い、将来の地域生活に向けて必要なあらゆる支援を行う</li> </ul> <p>(イ)事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概要:障がいのある入所児への医療・ケアの提供、リハビリテーション、外出等の生活自立訓練及び季節を感じ楽しい生活となるよう様々な年間行事を実施している。</li> <li>また、入所児の退所後の地域生活移行に向けて計画的に支援を行っている。</li> <li>・入所児童数 平均12.3人 (29年度 平均15.3人)</li> <li>・入所児は重度化が進んでいるが、細やかな観察と異常の早期発見・早期対応に努め、より大きな体調の崩れとにならないよう注意している。また、体調管理により生活が広がる行事に参加できるよう努めている。</li> <li>・家族と入所児のつながりを大切にし、一緒に泊まりや外泊・面会、家族と一緒に行事参加を積極的に勧めている。また、家族との連絡ノート等も活用している。</li> <li>・家族に入所児の支援計画について定期的に説明し、意思確認や同意を得ながら進めている。</li> </ul> <p>イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々生活の中で作成したものの作品展を開催したり、役立ち感を持てるよう今年度から、全児童に係活動を取り入れた。(いきものがかり、放送係等)</li> <li>・外出体験を通して、それぞれの児童の発達課題として「店員とのコミュニケーションを取る」「自分で物を選ぶ」「遠出ができる」「外食をする」「障がい児スポーツ大会へ参加」等の目的が達成できるような試みを実施した。</li> <li>・高度な医療ケアを必要とする重症児の治療に取り組む中で、入浴なども行い生活の質を維持・向上させた。</li> </ul> <p>ウ 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段、出掛けることのないような場所に出掛け、児童の表情が穏やかで体調管理のためのモニターの値が安定している等、障がいの状況は違っていてもそれぞれが楽しみ、感動している姿が多く見られた。</li> <li>・外出をほとんどしたことが無い児童に対し、距離を少しずつ延ばす等段階を追った対応や緊急時のマニュアルを整備するなどして外出することができた。また、それぞれの発達課題をクリアして次の発達課題へ進むことができた。外出体験を喜ぶ様子が見られるなど、将来の地域生活に向けて確実に歩むことができています。</li> <li>・家族だけでは家に帰ることが難しい入所児について、移動時間や移動手段を検討し看護師が付き添いで体調管理をすることで一時帰宅を実現し、本人や家族の笑顔を見ることができた。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入所児童は減少傾向にあるが、現在以上に今後入所する児童は医療・ケア度が高くなっていくことが予想される。このような中で、児の地域生活や教育面での他機関との連携や、アウトリーチを含め地域・在宅生活に向けたセンターの支援体制のあり方を検討する必要がある。</li> <li>・重度化に加え、親子関係が希薄で入所が長期にわたる可能性があるケースに対し、今後、児童のみならず親支援が求められている。</li> </ul>				

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
障害者総合支援法に基づく短期入所	319,437	1,858	315,721	1,858
鳥取元気プロジェクト			※総合療育センター費の中で当該事業を実施	
元気づくり総合戦略				

## (概要)

## ア 目的及び事業の実施状況

## (ア)目的

- ・地域で生活する医療ケアが必要な障がい児者の短期入所を受け入れ、その家族のレスパイト(日常の介護からの一時的解放や休息)や冠婚葬祭等の対応が可能となるよう支援する。

## (イ)事業の実施状況

- ・利用ニーズが高く、希望日や必要の度合い等を考慮しながら、安全かつ最大限に受け入れができるように職員の配置を調整している。
- ・利用者数 一日当たり平均 8.8人 (29年度 同 7.4人、28年度 同 6.6人)  
短期入所定員 6人(空床型)

## イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・地域療育連携支援室に配置した看護師がセンターの利用状況や家族の細かな希望を確認しながら、地域の会議に参加して調整を行っている。
- ・介助員の業務内容を見直し、短期入所の荷物チェック、ベッド準備、退所片づけなどを業務に加えた。また、看護師が本来の看護業務を行うことで、利用者のケアが効率よく提供でき利用者の増加に対応できた。
- ・全ての利用者にとってわかりやすく公平なルールを検討し、それまでの「短期入所のしおり」を見直した。また、標準的な持ち物チェックリストを作成し、荷物チェックを簡便にした。

## ウ 成果及び効果

- ・在宅重症児の新規受け入れを7人(31年1月末現在)実施することができた(平成29年度は7人)。上記の改善等を行い積極的に受け入れを行うことで利用者数が増加傾向にある。
- ・養護学校への登校や他事業所の利用により病棟の医療的ケアの度合いが減少する日中の時間帯(10時から15時)を利用して、未就学の児3人を日帰りで支援することができている。

## エ 課題

- ・超重症患者の地域生活移行が医療型短期入所と生活介護事業の組み合わせで進んでいった結果、月のほとんどをセンター内で過ごす成人利用者が数名おり、そのことで他の短期入所利用希望者の利用希望を一部調整せざるを得ない等の支障が出ている。国は30年度の福祉サービス報酬改定の中で短期入所の日数上限を定めたが、西部圏域に成人重症者の入所施設がほとんどなく、国の基準を適用すると行き場がなくなるため、慎重な対応が必要となる。成人利用者の家族からも何度も話を聞きながら個別に検討しているが、家族も高齢となり早期に対応を決めなければならない課題となっている。

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
医療的ケア児の対応	319,437	1,858	315,721	1,858
鳥取元気プロジェクト			※総合療育センター費の中で当該事業を実施	
元気づくり総合戦略				

## (概要)

## ア 目的及び事業の実施状況

## (ア)目的

- ・在宅で生活している医療的ケア児とその家族が、将来的な見通しを持ちながら安心して生活できるように医療型児童発達支援(のびっこワールド)、相談支援事業を中心として支援を行う。

## (イ)事業の実施状況

- ・在宅生活をスタートして年月の浅い医療的ケア児の生活面や成長過程において、療育の専門機関としてアセスメント、対応への助言、レスパイト(家族の休息)の提供等を行っている。
- ・のびっこワールドにおいて、利用児の保育園への訪問や就学に際して学校訪問等を行い、地域の保育園や学校での生活面の支援を行っている。

## イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・大学病院を退院する医療的ケア児について、大学病院のカンファレンスへの参加や評価入院の受入れ、訪問支援など在宅生活の安定に向けての支援を行った。
- ・地域療育支援事業として訪問看護ステーション、訪問リハビリ、相談支援事業所など他機関への支援を行った。
- ・鳥取県では初となる医療的ケア児等コーディネーター養成研修に職員が講師等の立場で協力し、コーディネーター養成に協力した。
- ・短期入所利用希望者の増加に伴い、より多くの方にサービス提供ができるよう、利用調整やしくみの見直しを行い、出来るだけ多くの方の受け入れを行った。
- ・医療的ケア児を地域で支える支援について啓発する目的で、地域療育セミナーを開催した。参加者107名。(平成30年12月15日、米子市福祉保健総合センター)

## ウ 成果及び効果

- ・小児リハビリや障がい児保育、重症心身障がい児の看護、医療ケアに係るノウハウなどを保護者や関係者に提供することで、在宅での生活を整える一助となっている。
- ・西部圏域には医療型短期入所施設はほとんどないため医療的ケア児の家族のレスパイト先として受け入れを行っており、児の在宅生活を支援している。

## エ 課題

- ・のびっこワールドを利用中や卒園時は支援できているが、今後のはのびっこワールドを利用する前段階において幼児への居宅訪問型児童発達など新たな療育の機会を提供していく必要がある。
- ・利用希望の多い短期入所への対応を早急に検討するとともに(P5のエ課題に記載)、行政が主体となって西部圏域において同様のサービスを行う施設を増やすための取り組みが必要である。



事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
発達障がいへの対応	319,437	1,858	315,721	1,858
鳥取元気プロジェクト	※総合療育センター費の中で当該事業を実施			
元気づくり総合戦略				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期から思春期にある発達障がい児への外来診療を行い、適時に医療を提供する。</li> <li>・発達障がい児の支援を行う地域の機関を支援する。</li> </ul> <p>(イ)事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来診療として小児科、児童精神科の診察を行っている。また小児科では、小集団活動やペアレントトレーニング(保護者向けプログラム。以下「ペアトレ」)を行っている。</li> <li>・地域療育支援事業として、各機関との連携、支援を行っている。</li> <li>・高等学校卒業の年齢を目途に地域の精神科等への移行をすすめている。</li> </ul> <p>イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小集団活動の実施方法を見直し、ニーズの高い年長児(就学前)に対応するプログラムを開始した。</li> <li>・ペアトレの実績・成果を検証し課題の整理と、新たな課題(思春期ペアトレ)の検討を始めた。</li> <li>・鳥大病院臨床心理センターとの心理カンファレンスを2回開催し、連携を深めている。</li> <li>・大人の発達障害に対応する医療機関をサポートするため、鳥大病院精神科と協力して「西部圏域大人の発達障害診療ネットワーク勉強会」を継続的に開催している。</li> </ul> <p>ウ 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科外来では、問診、同席、訪問等の方法を工夫し、保護者、園、学校、福祉事業所とのスムーズな連携ができるようになってきた。</li> <li>・児童精神科では、大人の発達障害のネットワーク勉強会に継続的に取り組むことで、各医療機関の状況把握や連携が進み、以前より成人期の診療移行がスムーズになっている。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科では、乳幼児健診後のフォローや就学へのつなぎの支援が充実しており、幼児期の新患は減少傾向だが、小学校高学年から中学生の受診が増えている。不登校や学校への不適應など二次障害となっているケースも多く、教育機関と共通の課題として検討していく必要性が増している。</li> <li>・児童精神科は常勤医師が1名であり、受診ニーズに対して医師が不足している。</li> </ul>				

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
児童福祉法に基づく医療型児童発達支援センター 〔施設名称:のびっこワールド〕	319,437	1,858	315,721	1,858
鳥取元気プロジェクト			※総合療育センター費の中で当該事業を実施	
元気づくり総合戦略				
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア)目的</p> <p>就学前の在宅障がい児の発達促進を図るとともに、家庭や地域での育児・療育を支援する。</p> <p>(イ)事業の実施状況</p> <p>概要:親子通園を基本とし、保育活動を通じて児の就学前の全般的な発達を促す支援を行っている。同時に家族への療育相談及び指導を行うとともに、地域の保育園等を訪問して関わり方等の助言を行う等、「のびっこ-家庭-保育園等の地域」が連携して支援を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の状況や従来からの肢体不自由児支援の専門性を活かして、鳥取大学医学部付属病院や福祉型児童発達支援センターの米子市あかしや、相談支援事業所等の地域の関係機関と会議や訪問等で情報共有しながら支援を行っている。</li> <li>・1日平均利用者数:平成30年4月～12月 4.2人/日(平成29年度4.5人/日)</li> <li>・保育園等との連携:訪問件数(16件)、園保育士ののびっこの活動見学や個別支援会議への出席(随時)、家庭訪問(4件)</li> <li>・あかしやとの連携:のびっこ利用者によるあかしや見学会(7月)、のびっこ利用者のあかしや見学や体験等の連絡調整(随時)</li> <li>・相談支援事業所との連携:個別支援会議への出席、サービス担当者会議への出席等(随時)</li> </ul> <p>イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の希望をしっかり把握し、受け入れ市町村との調整を行い、希望する園の選択・申し込み等への支援を行った。今年度も先輩保護者の就園や就学、子育ての体験談を聞く会を開催し、就園・就学時の参考にもなった。</li> <li>・のびっこでの活動や保育園訪問、保育園職員ののびっこの活動見学などを通して、家や地域でも取り入れることのできる遊びをねらいを含めて提供している。</li> <li>・個別支援会議において保護者にわかりやすい資料作成を行った。また、保護者が出来るだけ発言しやすくなるよう参加する職員数を調整したり、保護者からの発言を会の初めに持ってくるなど進行を工夫した。</li> </ul> <p>ウ 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村等が受け入れに難色を示したケースにおいても、同行訪問や調整を行う事で、保護者及び利用児が自分の行きたい園を選択することができた。</li> <li>・遊びのねらいを細かく伝えることで保護者が主体的に動けるようになり、難しいこともどうすればできるかといった観点で考えることができる保護者が増えてきている。</li> <li>・会議の進行を工夫することで、職員の一方向的な説明ではなく保護者や参加関係機関から意見が活発に出るようになった。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・のびっこ利用前や卒園後の支援をよりスムーズに行うため、相談支援事業所や市町村との連携を図っていくことが必要である。</li> <li>・家庭環境などにより通園できない家庭に対しては家庭状況を市町村と情報共有しながらそれぞれが支援を行っているが、継続的な取り組みが必要である。</li> </ul>				

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
障害者総合支援法に基づく生活介護事業 〔施設名称:はっぴいフレンド〕	319,437	1,858	315,721	1,858
鳥取元気プロジェクト	※総合療育センター費の中で当該事業を実施			
元気づくり総合戦略				

## (概要)

## ア 目的及び事業の実施状況

## (ア)目的

- ・在宅の重症心身障がい者等の生活を支え、心身機能の維持増進と生活の質の向上を図る。

## (イ)事業の実施状況

- ・概要:在宅の重症心身障がい者等の健康管理、日中の過ごし方の充実を目的に支援している。
- ・契約者数 9人(いずれの方も超重症心身障害者、障害支援区分6に該当)
- ・1日平均利用者数:平成30年4月～12月 3.3人/日 (平成29年度 2.9人/日)
- ・集団での活動(外出・創作等)や交流行事等を積極的に行い、センター内や地域に開かれた活動を行っている。  
 <例> 誕生日外出を行い、地域のカフェなどに出掛け、大切な誕生日をみんなでお祝いした。
- ・米子市障がい者アート展に展示する作品(着色した卵の殻を使い秋の大山を描いた作品)を制作し、利用者全員が自分の利用日に合わせて米子市美術館に見学を行った。
- ・家族交流行事として島根県の由志園に出掛けた。利用者の半数の利用者及び家族の参加があった。

## イ 平成30年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・将来施設入所を希望されている利用者・家族に対して鳥取医療センター(療養介護)への見学を実施した。
- ・家族が利用者の将来を考えていただく一助となるよう、司法書士を招いて「成年後見制度」の研修会を実施した。
- ・在宅での利用者の健康管理や家族の介護負担軽減のため、家族からの要望により家庭訪問を行いサービスの利用状況を確認し、必要な助言を行った。また、はっぴいフレンド以外のサービス利用につながるよう情報提供や関係機関との調整を行った。

## ウ 成果及び効果

- ・地域に出掛けることは、利用者としては外出先を広げ、また、重症心身障がい者のことを地域に知ってもらう良い機会になっている。
- ・利用者・家族が他の療養介護施設を見学し説明を受けることで、漠然とした不安が少なくなり、将来の生活を具体的にイメージすることができた。
- ・成年後見制度研修会では、率直な思いを語られたり質問をされるなど制度の理解につながった。

## エ 課題

- ・地域に医療的ケアが必要な方が利用できるサービスは限定されており、在宅生活の充実のため、保護者や関係機関等と協働していくことがより必要となっている。
- ・利用者の受け入れ(利用希望の調整、職員体制、送迎など)を円滑に行っていくために、はっぴいフレンドだけでなく他部署と調整や連携を行っていくことが必要である。

7 収入証紙取扱額調べ 該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成30年12月31日現在)  
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	収入	目							
民生使用料	児童福祉施設 使用料	障害福祉サービス利用料	328	74,984,884	74,743,544	0	241,340	鳥取県社会福祉施設の設置及び管理に関する 条例	
		障害児施設利用料	613	24,245,195	24,127,449	0	117,746		
		診療報酬	648	190,994,384	190,372,225	0	622,159		
		その他施設利用料	57	88,780	59,880	0	28,900		
		計(節)	1,646	290,313,243	289,303,098	0	1,010,145		
目計		1,646	290,313,243	289,303,098	0	1,010,145			
行政財産使用料	行政財産使用料	職員駐車場料	189	2,393,681	2,374,278		19,403	鳥取県行政財産使用料条例	
		電柱使用料	1	4,500	4,500				
		自動販売機設置使用料	1	19,680	19,680				
		計(節)	191	2,417,861	2,398,458	0	19,403		
目計		191	2,417,861	2,398,458	0	19,403			
合計		1,837	292,731,104	291,701,556	0	1,029,548			

(3) 手数料

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等
	収入	目						
民生手数料	児童福祉手数料	児童福祉施設手数料	127	1,165,600	1,118,160	0	47,440	鳥取県社会福祉施設の設置及び管理に関する条例
		目計	127	1,165,600	1,118,160	0	47,440	
合計		127	1,165,600	1,118,160	0	47,440		

(4) 財産収入

該当なし

## (5) 諸収入

(平成30年12月31日現在)  
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
延滞金	延滞金		13	4,520	3,740	0	780	鳥取県延滞金徴収条例	
		目計	13	4,520	3,740	0	780		
総合療育センター実習受託事業収入	総合療育センター実習受託事業収入		25	565,000	525,000	0	40,000	実習協定書等	
		目計	25	565,000	525,000	0	40,000		
日中一時支援受託事業収入	日中一時支援受託事業収入		1	20,400	20,400	0	0	地域生活支援事業実施要綱	
		目計	1	20,400	20,400	0	0		
弁償金	弁償金	児童福祉施設費弁償金	6	2,340,650	2,340,650	0	0	障害児入所給付費等国庫負担金及び障害児入所医療費等国庫負担金交付要綱	
		目計	6	2,340,650	2,340,650	0	0		
雑入	雑入	自動販売機手数料	6	62,926	62,926	0	0	自動販売機設置契約書	
		その他	163	7,202,861	7,029,082	0	173,779	障害児者総合支援法、予防接種法等	
		目計	169	7,265,787	7,092,008	0	173,779		
		合計	214	10,196,357	9,981,798	0	214,559		

(6) 現金の取扱状況  
ア 現金取扱状況

(平成30年12月31日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
雑入	1,100	10	公衆電話通話料
延滞金	450	1	診療費にかかる延滞金
児童福祉施設使用料	5,789,248	335	診療費等の患者負担金、短期入所・通園等の利用者負担金等(窓口における領収)
児童福祉施設手数料	1,095,290	107	文書料(窓口における領収)
合計	6,886,088	453	

イ つり銭の状況

該当なし

9 収入未済額調べ

(平成30年12月31日現在)  
(単位:円)

収入科目 目	区分		過年度						現年度分			収入未済額 (A+B)	未收理由	
	節	細節	前年度 以前からの 繰越額	左のうち 収入済額	不納 欠損額	差引収入 未済額(A)	収入未済額の調定年度内訳			収入 未済額 (B)				
							27年度以前	28年度	29年度					
民生使用料	児童福祉 施設使用料	-	161,734	150,944	0	10,790	5,360	5,030	400	289,151,509	289,152,154	999,355	1,010,145	現年分:収入年月日 平成31年1月4日 他 885,673円 繰越分:納付交渉中。
		計(節)	161,734	150,944	0	10,790	5,360	5,030	400	289,151,509	289,152,154	999,355	1,010,145	
	目計	161,734	150,944	0	10,790	5,360	5,030	400	290,151,509	289,152,154	999,355	1,010,145		
行政財産使用 料	行政財産使用 料	-	0	0	0	0	0	0	0	2,417,861	2,398,458	19,403	19,403	収入年月日 平成31年1月7日 他 19,403円
		計(節)	0	0	0	0	0	0	0	2,417,861	2,398,458	19,403	19,403	
	目計	0	0	0	0	0	0	0	0	2,417,861	2,398,458	19,403	19,403	
民生手数料	児童福祉 手数料	児童福祉 施設手数料	16,890	9,500	0	7,390	1,990	5,400	0	1,148,710	1,108,660	40,050	47,440	現年分:収入年月日 平成31年1月4日 他 40,050円 繰越分:納付交渉中。
		計(節)	16,890	9,500	0	7,390	1,990	5,400	0	1,148,710	1,108,660	40,050	47,440	
	目計	16,890	9,500	0	7,390	1,990	5,400	0	1,148,710	1,108,660	40,050	47,440		
延滞金	延滞金	-	3,290	3,290	0	0	0	0	0	1,230	450	780	780	納付交渉中。
		計(節)	3,290	3,290	0	0	0	0	0	1,230	450	780	780	
	目計	3,290	3,290	0	0	0	0	0	0	1,230	450	780	780	
総合療育 センター 実習委託 事業収入	総合療育 センター 実習委託 事業収入	-	0	0	0	0	0	0	0	565,000	525,000	40,000	40,000	収入年月日 平成31年1月9日 40,000円
		計(節)	0	0	0	0	0	0	0	565,000	525,000	40,000	40,000	
	目計	0	0	0	0	0	0	0	0	565,000	525,000	40,000	40,000	
雑入	雑入	-	0	0	0	0	0	0	0	7,265,787	7,092,008	173,779	173,779	収入年月日 平成31年1月4日 他 173,779円
		計(節)	0	0	0	0	0	0	0	7,265,787	7,092,008	173,779	173,779	
	目計	0	0	0	0	0	0	0	0	7,265,787	7,092,008	173,779	173,779	
合計			181,914	163,734	0	18,180	7,350	10,430	400	301,550,097	300,276,730	1,273,367	1,291,547	

該当なし

10 未収金回収促進のための取組状況調べ

11 不納欠損額調べ 該当なし

12 負担金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成30年12月31日現在)  
(単位:円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要綱 等を含む)	備考
児童福祉総務費	20,000							
新規以外のもの						20,000		
目 計						20,000		
児童福祉施設費	1,041,000							
新規以外のもの						782,970		
目 計						782,970		
合 計						802,970		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

## (4) 委託料

(平成30年12月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料 の名称	委託契約 の相手方	当初契約			入札等年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了年月日		支出の状況			備考
				予定価格	変更契約(最終) (契約年月日) 契約額	委託期間		契約形態	履行検査 年月日	支出 区分	支出 年月日	金額	
児童福祉 施設費		警備業務委託	富士総合警備 保障(株)	20,163,000円	(30.3.30) 20,139,840円	30.4.1 ~ 33.3.31	H30.3.23 (免除)	H30.4.30外	精	30.5.14外	4,475,520	文書ID:17-00310149	
				25,876,000円	(30.3.30) 25,660,800円	30.4.1 ~ 32.3.31	制限付 H30.3.9 (免除) 指	H30.4.30外	精	30.5.14外	8,553,600	文書ID:17-00309980	
		43,740,000円	(29.3.22) 43,740,000円	29.4.1 ~ 32.3.31	H28.12.20 (免除) 一般	H30.4.30外	精	30.5.11外	9,720,000	総合評価方式 文書ID:16-00174875			
		7,341,693円 (予定数量による額)	(30.3.30) 7,192,083円 (単面契約) 病棟器具@188円 バスタオル@46円 外	30.4.1 ~ 31.3.31	H30.3.16 (免除) 指	H30.4.30外	精	30.5.18外	4,402,422	文書ID:17-00302787			
小計		4件					H30.4.30外			27,151,542			



予算科目 (目)	国補 県単 の別	委託料 の名称	委託契約 の相手方	当初契約			入札等年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	委託期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
児童福祉 施設費		施設総合維持 管理業務委託	太平ビルサービ ス(株)	12,312,000円	(29.3.27) 12,021,696円	29.4.1 ~ 32.3.31	H29.3.6 (免除)	H30.4.30外	精	30.5.10外	2,671,488	文書ID:16-00175925
							指	H30.4.30外				
		医療ガス設備 保守点検委託	日ノ丸産業(株)	3,570,000円	(30.3.30) 3,197,980円	30.4.1 ~ 33.3.31	H30.3.9 (免除)	H30.9.30外	精	30.10.5	487,620	文書ID:17-00309814
							指	H30.9.30外				
		自動制御装置 保守業務委託	日本電技(株)	4,082,400円	(28.2.25) 4,082,400円	28.4.1 ~ 31.3.31	H28.2.1 (免除)	H30.9.30外	精	30.10.15	680,400	特別な機械の保守の委託を特 別な関係又は特殊な技術を有 する者に行わせるため。 文書ID:15-00158271
					随	H30.9.30外						
ガスタービン 発電機保守点 検業務委託	(有)東洋産電	3,950,532円	(28.3.7) 3,747,600円	28.4.1 ~ 31.3.31	H28.2.25 (H28.3.3)	H30.9.30外	精	30.10.2	2,440,800	文書ID:15-00163160		
					指	H30.9.30外						
小計		C.T装置保守 業務	キャノンメディカ ルシステムズ (株)	8,748,000円	(28.2.25) 8,748,000円	28.10.1 ~ 33.3.31	H28.2.3 (免除)	H30.6.30外	精	30.07.13外	972,000	特別な機械の保守の委託を特 別な関係又は特殊な技術を有 する者に行わせるため。 文書ID:15-00157744
							随	H30.6.30外				

予算科目 (目)	国補 県単 の別	委託料 の名称	委託契約 の相手方	当初契約			入札等年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了年月日	支出の状況			備考
				予定価格	変更契約(最終) (契約年月日) 契約額	委託期間			契約形態	支出 区分	支出 年月日	
児童福祉 施設費		デジタルX線T Vシステム保 守委託	キャノンメディカ ルシステムズ (株)	11,210,400円	(28.2.25) 11,210,400円	28.4.1 ~ 33.3.31	H28.2.8 (免除)	H30.6.30外	精	30.07.13外	1,121,040	特殊な機械の保守の委託を特 別な関係又は特殊な技術を有 する者に行わせるため。 文書ID:15-00157774
							随	H30.6.30外				
		ネットワー クサーバ総合保 守	宮野医療器株 式会社	10,099,317円	(28.3.18) 10,099,317円	28.12.28 ~ 34.12.27	H28.3.14 (免除)	H30.6.30外	精	30.07.13外	843,048	特殊な機械の保守の委託を特 別な関係又は特殊な技術を有 する者に行わせるため。 文書ID:15-00172180
							随	H30.6.30外				
小計		空調機器保守 点検業務委託	三菱電機ビルテ クノサービス (株)中国支社	8,208,000円	(28.2.25) 7,182,000円	28.4.1 ~ 31.3.31	H28.2.4 (免除)	H30.9.30外	精	30.10.17	1,196,640	特殊な機械の保守の委託を特 別な関係又は特殊な技術を有 する者に行わせるため。 文書ID:15-00158192
							指	H30.4.30外				
小計		4件									6,044,328	

予算科目 (目)	国 庫 単 の 別	委託料 の 名 称	委託契約 の 相手 方	当初契約			入札等年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了年月日	支出の状況			備 考
				予定価格	変更契約(最終) (契約年月日) 契約額	委託期間			契約形態	支出 区分	支出 年月日	
		給食調理業務 委託	日清医療食品 (株)	121,238,376円	(30.3.30) 106,013,790円 【(食材料費× 食数)+管理運 営費 朝食273円 昼食388円 夕食388円 管理運営費 83,654,478円】	30.4.1 ～ 33.3.31	H30.2.15 (免除)	H30.4.30外	精	30.6.5外	22,725,989	プロポーザル方式 文書ID:17-00295100
							随	H30.4.30外				
児童福祉 施設費	県 単	院内保育施設 運営業務委託	(株)アイگران	57,416,480円 【施設長業務 312,800円/月 保育士(1時間当 たり) (9:00～17:00) 1,564円/人 (17:00～9:00) 1,764円/人 布団リース(1人 当たり)月額 1,000円 (税抜き)】	(28.3.31) 57,416,478円 【施設長業務 312,800円/月 保育士(1時間当 たり) (9:00～17:00) 1,564円/人 (17:00～9:00) 1,764円/人 布団リース(1人 当たり)月額 1,000円 (税抜き)】	28.4.1 ～ 31.3.31	H28.3.22 (免除)	H30.4.30外	精	30.5.21外	10,570,225	プロポーザル方式 文書ID:15-00183390
小計		2件					随	H30.4.30外			33,296,214	

予算科目 (目)	国 庫 単 の 別	委託料 の 名 称	委託契約 の 相 手 方	当 初 契 約			入札等年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了年月日 履行検査 年月日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	契約年月日 (契約額)	委託期間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額	
児童福祉 施設費	単 庫	電子カルデン システム等保守 業務委託	(株)ケイズ	12,304,224円	(30.4.1) 12,304,224円	30.4.1 ~ 31.3.31	H30.3.16 (免除)	H30.4.30外	精	30.5.21外	8,047,296	特殊な機械の保守の委託を特 別な関係又は特殊な技術を有 する者に行わせるため。 文書ID:17-00303970
		換気・衛生設 備保守点検業 務委託	みつわビル管理 (株)	4,182,000円	(29.3.27) 4,179,600円	29.4.1 ~ 32.3.31	H29.3.6 (免除)	H30.4.30外	精	30.5.25外	928,800	
小 計		2 件									8,976,096	
上記の外、 契約額が 250万円未 満のもの											6,439,986	
目 計											89,160,474	
合 計											89,160,474	

13 工事請負費調べ 該当なし

14 財産に関する調べ

(1)公有財産

ア 土地

(平成30年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)		
		米子市上福原七丁目 1751-1	9,276.00	17,513,800	増加	H						9,276.00	17,513,800	
		米子市上福原七丁目 1771-1	3,279.00	6,646,400	減少	H						3,279.00	6,646,400	
		米子市上福原七丁目 1752-5	1,315.00	不明	増加	H						1,315.00	不明	
		米子市上福原七丁目 1753-1	1,249.00	不明	減少	H						1,249.00	不明	
		米子市上福原七丁目 1753-3	483.00	不明	増加	H						483.00	不明	
		米子市上福原七丁目 1756	1,600.73	72,633,124	減少	H						1,600.73	72,633,124	
		米子市上福原七丁目 1757-1	1,447.27	65,669,876	増加	H						1,447.27	65,669,876	
		米子市上福原七丁目 1758-1	2,167.02	98,328,533	減少	H						2,167.02	98,328,533	
		米子市上福原七丁目 1758-2	2,100.00	73,500,000	増加	H						2,100.00	73,500,000	
		米子市上福原七丁目 1775-1	912.00	16,103,744	減少	H						912.00	16,103,744	
		米子市上福原七丁目 1775-2	925.00	13,449,409	増加	H						925.00	13,449,409	
		米子市上福原七丁目 1797-16	1,223.00	17,782,299	減少	H						1,223.00	17,782,299	
行政財産	総合療育センター													

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)		
		米子市上福原七丁目 1775-3	512.00	8,726,245	増加	H						512.00	8,726,245	
		米子市上福原七丁目 1797-20	124.00	2,113,387	減少	H						124.00	2,113,387	
		米子市上福原七丁目 1797-14	1,330.00	20,301,772	増加	H						1,330.00	20,301,772	
		米子市上福原七丁目 1799-2	54.12	3,864,168	減少	H						54.12	3,864,168	
		米子市上福原七丁目 1799-8	52.59	3,754,926	増加	H						52.59	3,754,926	
		米子市上福原七丁目 1755-1	542.54	39,225,642	減少	H						542.54	39,225,642	
		米子市上福原七丁目 1755-4	540.85	39,103,455	増加	H						540.85	39,103,455	
計			29,133.12	498,716,780				0	0			29,133.12	498,716,780	
普通財産					増加	H								
計			0	0	減少	H						0	0	
合計			29,133.12	498,716,780				0	0			29,133.12	498,716,780	

イ 建物

(平成30年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)		
			50.60	702,960	増加	H				H		50.60	702,960	車庫
					減少	H				H				
			6,837.71	2,418,286,280	増加	H				H		6,837.71	2,418,286,280	本館
					減少	H				H				
			578.00	171,814,766	増加	H				H		578.00	171,814,766	重心外来部門
					減少	H				H				
			258.00	78,538,789	増加	H				H		258.00	78,538,789	電気機械室
					減少	H				H				
			11.29	2,875,492	増加	H				H		11.29	2,875,492	医療廃棄物倉庫
					減少	H				H				
			9.76	2,485,810	増加	H				H		9.76	2,485,810	廃棄物倉庫
					減少	H				H				
			5.13	1,306,579	増加	H				H		5.13	1,306,579	駐輪場
					減少	H				H				
			120.06	35,688,721	増加	H				H		120.06	35,688,721	車庫棟
					減少	H				H				
			14.58	4,334,013	増加	H				H		14.58	4,334,013	駐輪場、ゴミ置場
					減少	H				H				
計			7,885.13	2,716,033,410				0	0			7,885.13	2,716,033,410	
普通財産					増加	H				H				
					減少	H				H				
計			0	0				0	0			0	0	
合計			7,885.13	2,716,033,410				0	0			7,885.13	2,716,033,410	

- ウ 山林 該当なし
- エ 動産(浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
- オ 物権 該当なし
- カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等) 該当なし
- キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成30年12月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		受入額	払出額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	49,524	35,900	32,669	52,755	
クオカード	697	0	504	193	
図書カード	0	45,000	45,000	0	
ギフトカード	2,000	0	2,000	0	
				0	
合 計	52,221	80,900	80,173	52,948	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成30年12月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末	備 考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
枚	枚	枚	枚	
62	50	26	86	
		40,310 円		



15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成30年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	配電線施設置のため	米子市上福原七丁目13番3号	コンクリート柱3本	H27.1.27	H12.3.28	H27.4.1~ H32.3.31	月額・年額 4,500	4,500	米子市加茂町二丁目51 中国電力株式会社 米子営業所	文書 ID:14- 00145824	
計							月額・年額 4,500				
普通財産	該当なし										
計											
合計								4,500			

イ 建物

(平成30年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	自動販売機設置のため	米子市上福原七丁目13番3号	2.0㎡	H29.3.31	H17.4.28	H29.4.1~ H32.3.31	月額・年額 19,680	19,680	米子市中島一丁目1-5 白バラ商事株式会社	文書 ID:16- 00185183	
計							月額・年額 19,680				
普通財産	該当なし										
計											
合計								19,680			

(2) 物品

(平成30年12月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏	所名			
シャウカス テン	1台	モリヤス KH-22D	H30.4.1~ H31.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市湖山町二丁目555 医療法人社団 尾崎病院 院長 蘆 俊朗		レントゲン室	障がい児の側弯評 価に利用するため	
合計					0					

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	米子市上福原七丁目13番3号	12.5(舗装なし)	2,677
普通財産	該当なし		

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	減免状況	収入済額	収入未済額
		人	うち減免	人	うち減免	人	うち減免				
4月	125	15	5	13	2	123	44	271,021	病院、入所型福祉施設等の所屬で勤務形態が一般職員と異なっており、かつ夜間、早朝勤務などがあり、公共交通機関による通勤が困難な職員等。 減免率:1/4、1/2		
5月	123	1	0	1	0	123	44	271,021			
6月	123	0	0	0	0	123	46	269,012			
7月	123	0	0	0	0	123	46	273,029			
8月	123	0	0	1	0	124	46	275,706			
9月	124	2	0	0	0	122	46	270,352			
10月	122	0	0	0	0	122	46	270,352			
11月	122	1	0	1	0	122	46	270,352			
12月	122	0	0	1	0	123	46	222,836			
1月						0					
2月						0					
3月						0					
合計								2,393,681		2,374,278	19,403

18 寄附物件の受納状況調べ

(平成30年12月31日現在)

品名	規格、銘柄等	数量	見積金額	寄附申込年月日	寄附申込者名	受納年月日	受納手続の有無	備考
丸型カーブミラー、ソーラー式LED投光器	490mm	1	円 33,000	H30.4.17	個人	H30.4.18	有	
合計			33,000					

19 備品の処分状況調べ

該当なし

20 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(平成30年12月31日現在)

現金、有価証券 又は物品名	数量	金額	亡失、損傷年月 日、時	同左場所	同左概要	報告 年月日	会計管理局 の 審査結果
タクシーチケット	1	円 0	H30.5.25	米子市西福原4-9-24	出張の際に使用予定であったが徒歩のため使用しなかった。未使用時は返却する必要がないと思い細かく破って破棄した。	H30.11.6	—
普通自動車 (鳥取800さ6227) ハイエース	1	193,282	H30.7.17	西伯郡伯耆町 吉長150 付近道路上	利用者送迎中、T字路から進行してきた相手方に後部右側に追突された。	H30.7.17	—
合計	2	193,282					

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
平成30年7月2日 ～ 平成30年8月31日	・ 有      (無)		

## 総合療育センター個別事項

### 21 当年度における業務の概要

#### 【総合療育センターの理念と基本方針】

##### <理念>

私たちは、障がいについての質の高い医療・福祉サービスを提供し、豊かな社会生活に向けての支援を行います。

－ 利用者の皆さまとともに、今も未来も、豊かで楽しい生活をめざそう －

##### <基本方針>

- ・私たちは、利用者中心の医療・福祉サービスの提供を行います。
- ・私たちは、地域の多くの人たちと協働して、障がい児・者とその家族の地域生活を支援します。
- ・私たちは、自己研鑽に励むとともに、障がい児・者の医療・福祉従事者への研修の場を提供します。
- ・私たちは、総合療育センターを構成する者として、その運営に積極的に取り組みます。

#### 【総合療育センターの事業の概要（事業費 319,437千円（総合療育センター費））】

##### 1. 施設の役割

- ・発達障がい児を含む障がい児全般の早期発見・早期療育
- ・生涯を見通した継続的な療育
- ・NICU長期入院児にかかるバックアップ施設としての機能

##### 2. 施設の機能

###### (1) 医療機関としての機能

○診療科…小児科(脳神経小児科)・精神科(児童精神科)・リハビリテーション科・整形外科・耳鼻咽喉科(H20.4～)・皮膚科(H21.4～)・歯科(H17.6～)

※耳鼻咽喉科及び皮膚科は入所者のみ対象

○病床数：61床(障害者施設等入院基本料)

…肢体不自由児及び重症心身障がい児入所50床、医療保険入院5床  
短期入所6床は空床利用型

###### (2) 児童福祉施設としての機能

医療型障害児入所施設

肢体不自由児〈定員25人(1/1現在入所者2人)〉

重症心身障がい児〈定員25人(1/1現在入所者10人)〉

医療型児童発達支援センター〈定員30人(1/1現在登録者24人)〉

生活介護事業(重症心身障がい児(者)通園)〈1日定員6人(1/1現在登録者9人)〉

短期入所〈定員6人(1日の平均利用者数8.9人)〉

日中一時支援事業受入（米子市、境港市、日吉津村、伯耆町、南部町、倉吉市、湯梨浜町、島根県安来市、岡山県真庭市）

##### 3. 利用者年間延べ人数(平成30年4月から平成30年12月まで)

区分	延べ利用者数
外来受診者	11,493人
肢体不自由児入所	549人
重症心身障がい児入所	2,843人
医療保険入院	395人
児童発達支援センター	787人
生活介護事業	614人
短期入所	2,411人
日中一時支援	2人

## 【今後の課題】

### 1 育児休業等に伴う保育士代替職員の配置

- ・センターに配置されている保育士7人のうち2人が30年12月から32年度末にかけて産休、育休を取得する。保育士については現在、県立療育機関見直しが進行中で新規採用が抑えられているため正職員の配置は難しく、一方で任期付職員や非常勤職員を募集しても応募者がいない状況である。
- ・既に欠員状況となっている部分については看護師等の応援でカバーしているが、こうした状態が長期に及ぶと安全面や児童の生活の質に大きな影響を及ぼすことになるため、早期に欠員状態を解消することが必要である。

### 2 医療職の一人職場への対応

- ・薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士は一人しか配置されていない。そのため時間外の緊急時においては呼び出し又は医師が業務を代行して対応しているが、患者の重症化で医療ニーズが高まり、また大規模な災害等があれば何らかの応援体制が必要になってくるため、速やかに人事当局への要望等を行う。

## 【各部の業務】

### 《事務部》

人事、会計、物品購入、医療事務、施設管理、一般管理事務のほか、診療に基づく医療費の計算及び請求などの保険医療事務、給付費請求等の福祉施設としての事務、医薬品や衛生材料等の購入、庁舎管理や公用車の運転など、病院運営上必要な業務を担当している。

### 《地域療育連携支援室》

地域療育支援、医療ソーシャルワーク、各種相談、在宅児に係る支援、入所・通園にかかる相談等について、関係機関と連携し、センターの窓口として、ケースごとの支援、機関連携強化、地域への啓発等を行っている。

### 《医務部》

入院及び外来にかかる診療（整形外科、小児科、リハビリテーション科、精神科、耳鼻咽喉科、皮膚科、歯科）、検査（画像診断、臨床検査）、薬局、栄養管理、入所児・通園児（者）並びに外来児の診療、治療、健康管理、療育方針の立案、薬局（薬剤管理、調剤）、検査（画像診断、臨床検査）、栄養管理を行っている。

外来では、肢体不自由児だけでなく、小児整形外科疾患、小児内科疾患、精神遅滞、聴覚障害、てんかん、学習障がいなどの発達障がい、不登校、思春期の精神科及び小児精神科疾患も扱っている。

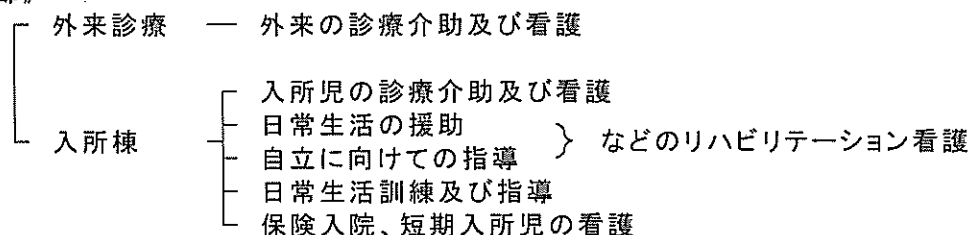
小児内科的治療、外科的治療、障がい児救急医療、手術療法、精神療法、理学療法、作業療法、言語療法、装具療法、総合診断、発達相談、特殊検査（聴力検査、誘発筋電図、脳波検査、各種誘発脳波検査、平衡機能検査など）、身障手帳診断、特別児童扶養手当などの診断書の作成等を行っている。

### 《リハビリテーション部》

入所児・通園児・外来児の、評価、訓練、指導

- ・理学療法（運動療法、物理療法）
- ・作業療法（上肢機能訓練、身辺自立訓練、知覚認知訓練、小集団療法）
- ・言語聴覚療法（構音訓練、摂食訓練、言語発達促進訓練、聴能訓練、小集団療法）
- ・心理療法（カウンセリング、心理検査、小集団療法）

### 《看護部》



療育が必要な子供たちと取り巻く家族へ、精神面を配慮した温かい看護を実施している。

#### 《社会参加部》

センター行事の企画及び運営、幼児保育、学校及び他施設・機関との連絡調整、保護者との連絡調整、家庭訪問、外出学習、ボランティアとの協働

センター内での各種行事の実施や外出学習を通じ、日常生活の幅を広げるとともに、生活に必要な知識(技能)の取得を援助する。

未就学児の日中保育を通して、児の心を安心安定させ、成長を見守り、児の発達を促す。

隣接の養護学校との連携を図りながら、進路の調整指導等を行う。

入所児童の親子関係における不安材料(別離という状況)の軽減あるいは解消のために、保護者との連絡調整や外泊に取り組む。

#### 《通園部》

##### 生活介護事業(はっぴいフレンド)

在宅の重症心身障がい者等に対して、集団での外出活動や創作活動などを通して、日常的な体験・社会参加ができるように、日常生活動作や運動機能等に関わる訓練・指導等必要な支援を行い、機能低下を防止している。

センターの生活介護に来ることで、1人1人が健康維持できるよう排痰、呼吸管理等を活動の中に取り入れている。

##### 医療型児童発達支援センター(のびっこワールド)

就学前の運動障がいや運動発達に遅れのある児童に対して、親子通園を基本に、保育活動を通じて全般的な発達を促すとともに、保護者同士の情報交換やリフレッシュの場を提供している。

保育士・理学療法士・言語聴覚士・児童指導員・看護師など多職種のスタッフで児童の生活を助けられるよう取り組んでいる。

保護者等の療育相談に応じたり、園訪問などを通して地域の園と連携し、家庭や地域における育児支援を行っている。



22 利用者に関する調べ

(1) 月別利用者の調べ

(単位:人) 平成30年12月31日現在

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度末の契約者数等	当年度の増減		12月31日現在の契約者数等
																新規契約者数等	契約解除者数等	
入所	肢体	実	2	2	2	2	2	2	2	2					2	0	0	2
		延べ	60	62	60	61	62	60	62	60	62				549			
	重心	実	11	11	11	11	11	10	10	10	11				10	1	1	10
		延べ	327	340	321	312	311	297	305	298	332				2,843			
保険入院	実	2	5	8	8	9	2	2	5	5								
	延べ	14	73	48	42	89	35	13	59	22				395				
短期入所	実	37	31	31	35	31	33	34	34	33					105	7	1	111
	延べ	272	251	269	278	260	277	273	265	266				2,411				
日中一時	実	0	0	0	0	1	0	0	0	0					12	0	0	12
	延べ	0	0	0	0	2	0	0	0	0				2				
通所	児童発達	実	25	26	26	29	25	29	27	24	26				33	7	4	36
		延べ	81	90	82	89	97	83	94	89	82				787			
	生活介護	実	9	9	9	9	9	9	9	8					8	1	0	9
		延べ	68	67	70	71	79	60	73	70	56				614			
外来	小児科	延べ	764	786	837	877	896	764	941	854	855				7,574			
	リハビリ	延べ	193	218	223	211	208	210	248	241	211				1,963			
	整形	延べ	2	6	1	4	3	3	4	9	5				37			
	精神	延べ	154	171	151	158	161	151	167	158	144				1,415			
	歯科	延べ	57	49	57	54	64	50	54	66	53				504			
	全麻件数		1	3	3	5	2	2	1	3	2				22			
	その他	延べ	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0			
外来計	延べ	1,170	1,230	1,269	1,304	1,332	1,178	1,414	1,328	1,268				11,493				
延べ利用者合計			1,992	2,113	2,119	2,157	2,232	1,990	2,234	2,169	2,088			19,094				

※ 「全麻件数」とは、「全身麻酔による歯科治療」の件数である。

注 「前年度末の契約者数等」欄等は、利用の契約者及び利用登録者等の人数を記載すること。

(2) 近年の利用者の状況調べ(延べ)

(単位:人)(平成30年12月31日現在)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
入所	肢体	365	462	960	1,195	549
	重心	4,594	4,416	4,067	3,908	2,843
保険入院	2,186	1,203	656	440	395	
短期入所	2,194	2,412	2,402	2,699	2,411	
日中一時	115	165	131	61	2	
通所	児童発達	1,212	1,162	1,108	1,108	787
	生活介護	778	760	689	707	614
外来(合計)	12,746	13,462	13,551	14,286	11,493	
合計	24,190	24,042	23,564	24,404	19,094	

## (3) 地域別利用者の調べ

(単位：人)

(平成30年12月31日現在)

区分	県内				県外				合計
	東部	中部	西部	計	島根県	岡山県	その他	計	
入所	肢体		1	1	2				2
	重心	1	1	8	10	1			11
保険入院		9	5	19	33				33
短期入所			4	42	46	6	1	1	54
日中一時				1	1				1
通所	児童発達		1	26	27	4			31
	生活介護		1	8	9				9

※ 外来を除く。

## 2.3 肢体不自由児及び重症心身障害児(者)に関する調べ

## (1) 利用者の病類調べ

(単位：人)

(平成30年12月31日現在)

区分		脳原性疾患		二分脊椎	筋神経疾患	染色体異常	滑脳症	頭後部外傷等	先天性水頭症	肝芽腫術後	化膿性髄膜炎	炎症性遺症	精神遅滞	その他	計
		脳性まひ	その他												
入所	肢体				1				1						2
	重心	3	2			1	1	1						3	11
	計	3	2	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	3	13
通所	児童発達	7		1	2	9			1				3	8	31
	生活介護	3	1		1	1	1	2							9
	計	10	1	1	3	10	1	2	1	0	0	0	3	8	40

## (2) 利用者の年齢調べ

(単位：人)

(平成30年12月31日現在)

区分		3歳まで				就学前			小学生	中学生	18歳未満	20歳未満	成人	計
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳						
入所	肢体									1	1			2
	重心	1							4	3	3			11
	計	1							4	4	4			13
通所	児童発達支援		8	5	9	5	2	2						31
	生活介護										1		8	9
	計		8	5	9	5	2	2			1		8	40

## 24 実習生・研修生の受入状況調べ

(単位:人) (平成30年12月31日現在)

実習名等(受入理由)	依頼元(学校名等)	受入人数		実習費等受入状況
		実人数	延べ人数	
[医療関係]				
臨床実習	鳥取大学医学部	9	42	42,000 円
[看護関係]				
小児看護学臨地実習	米子北高校	31	288	288,000 円
	鳥取看護大学	17	68	68,000 円
	旭川荘療育・医療センター	2	2	10,000 円
[リハビリ関係]				
臨床心理学実習	鳥取大学大学院医学系研究科	6	20	20,000 円
理学療法士実習	アフタースクールファム	1	5	5,000 円
理学療法士科臨床実習	吉備国際大学	1	20	20,000 円
	県立広島大学	1	29	29,000 円
作業療法士科臨床実習	YMCA米子医療福祉専門学校	1	39	39,000 円
[保育関係]				
保育実習	鳥取短期大学	4	44	44,000 円
合 計		73	557	565,000 円

注1 「実習名(受入理由)」欄は、臨床実習・小児保健実習、施設研修等の区分を記載すること。

2 「実習費等受入状況」欄は、受入に係る収入の考え方や収入金額を記載すること。



26 主な施設の整備状況調べ 該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等 特になし